



「オバマ大統領に学ぶ＝ 他者への共感と謙虚さ」

(社) 鳥根県建設業協会出雲支部
支部長 中筋豊通

『追加対策56.5兆円規模』

『財政出動15兆円 成長分野に重点配分』

雇用や企業の資金繰り支援などの緊急対応に4兆9千億円の国費を投入。中小企業向けの緊急保証枠も30兆円に拡大……

環境、健康などの成長戦略には6兆円を投じ、事業規模8兆5千億円とする。省エネ家電や環境対応車の購入促進策を導入……

公共事業の地方負担の9割を国が肩代わりするなど「安全と活力の実現」に事業規模で3兆5千億円を確保…… (山陰中央新報より抜粋)

未曾有の経済危機からの脱却に向けて、昨年の秋成立した①20年度の一次補正、②今年に入ってからの二次補正、③21年度予算、①②③で総額75兆円(事業規模)の3段階ロケットで景気を支え、そして今回の経済危機対策09年度補正予算、追加経済対策に民間の意見を取り入れるために政府が発足させた「経済危機克服のための有識者会合」の結果を踏まえての政府案である。

57兆円を内需拡大に取り組む中国、75兆円の景気刺激策を打ち出したオバマ政権には及ばないが、財政支出、事業規模とも過去最大の大型対策となり、雇用や資金繰りを支援、環境などの成長分野に重点配分、不況脱却を目指すとしています。学校の耐震化や電柱の地中化や羽田、成田空港の拡充整備、首都圏の環状道路整備などが盛り込まれ、公共投資に重点が置かれた対策は本当に久しぶりです。

鳥根県は、どうでしょうか、21年度予算の基本的な考え方は「景気後退の影響が急速に拡大する中、現下の経済危機に対処し、県経済と県民生活を守るため、国の経済対策に呼应し、さらに県独自の措置も織り込んで、需要と雇用の創出に向けた経済対策を実施するための予算を措置した。」とあります。

08年度補正予算に、公共事業を中心に120億円超を計上するとともに、09年度当初予算でも要求枠外で約80億円を確保。歩道や道路の整備、河川改修、治山、地滑り防止対策など、県民の安心・安全に関する事業を展開する。正しく県も公共事業中心に下支えです。具体的に地元どんな事業が展開されるかは未知数ですが、私たち建設業の出番がありそうです。

60周年という一つの節目を終え、新たなるスタートを切った建設業協会、社会貢献はもちろんですが、鳥根県の総合的発展のため、この経験を地域にどう活かすか、そして顧客の満足と信頼を得るための経営力強化は必要不可欠です、協会員切磋琢磨、知恵を出し、この経済危機を乗り越えて行きましょう。

「オバマ大統領に学ぶ＝他者への共感と謙虚さ」不当な低価格競争は自滅への道、地域の雇用確保のためにも、適正価格による適正な競争により企業継続を図りたいものです。ありがとうございました。



「Yes, we can」
「Yes, we did」



新任のご挨拶

出雲労働基準監督署
署長 杉埜富雄

このたび、4月1日付で、出雲労働基準監督署長を拝命いたしました杉埜（すぎの）と申します。

前任地は福岡労働局福岡東労働基準監督署ですが、島根は初めての勤務になります。

当署の所轄は、出雲市、大田市、雲南市のうち三刀屋町、吉田町、掛合町、簸川郡斐川町、飯石郡飯南町の3市2郡と広範囲に及んでおり、さまざまな業態の企業の方が事業を展開していますが、雇用情勢は、昨年夏以降の景気後退を反映して、悪化の一途をたどっており、島根県の有効求人倍率は0.6まで低下しています。

こうした中で、当署管内の建設業における労働災害（休業4日以上の死傷災害）は、平成20年に年間56件発生しており、依然として高水準にあります。

労働災害の内訳を見ますと、「墜落・転落」によるものが17件と全体の3割を占め、そのほか、「切れ・こすれ」によるものが9件、「飛来・落下」によるものが6件などとなっています。

労働基準監督署では、事業場を個別に臨検し、監督指導等を行っていますが、労働災害防止の実効をあげるためには、事業者が自主的に個々の事業場の建設物、設備、原材料等による危険性又は有害性等の調査等いわゆる「リスクアセスメント」を行い、危険性の洗い出しと洗い出した危険に対する災害防止対策を講じることが重要だと考えています。

また、労働安全衛生規則が改正され、足場等からの墜落防止等の対策を強化するため、①わく組足場においては、交さ筋かきに加え、「下さん」や「幅木」を設けること、②わく組足場以外の足場においては、「高さ85センチメートル以上の手すり」に加え、「中さん」等を設けること、③物体の落下防止措置として、「幅木」、「メッシュシート」、「防網」を設けること、さらには、足場の安全点検等を充実する規定が盛り込まれ、本年6月1日から施行されます。

建設現場における労働災害防止に、より自主的、積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会と貴協会の会員皆様のますますのご発展とご繁栄を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。



着任のご挨拶

出雲警察署
署長 川上 穂

3月23日付で出雲警察署長に着任いたしました。管内の治安責任者として、安全と安心を確保した良好な治安維持に、署員と共に全力で取り組みますのでよろしくお願い申し上げます。

協会の皆様方には、平素の企業活動を通じて、地域社会の発展にご尽力されておられることに敬意を表しますと共に、暴力追放や交通安全活動をはじめとする警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜っていることに対し厚く御礼を申し上げます。

出雲、斐川地域は弥生時代の古墳や、荒神谷遺跡の青銅器群をはじめとする歴史的な史跡が数多く存在するとともに、昨年からは出雲大社においては100年に一度といわれる「平成の大遷宮」が始められるなど、その文化的な意義が、全国的に注目を集める地域となっています。

また、広大な斐川平野や、日御碕をはじめとする日本海の海岸線等の豊かな自然に囲まれた風光明媚な土地であり、そこに暮らす住民の皆様も大変民情豊かな方々であります。

この地域の安全、安心を確保するため出雲警察署では、本年の運営指針を「県民とともにある力強い警察」として、

- ①安全・安心なまちづくりの推進 ②重要犯罪、組織犯罪等の徹底検挙
- ③交通死亡事故の抑止 ④テロ、災害等緊急事態対策の推進

の四本柱を重点に、日本一治安の良い「いずも」を目指して、職員一人一人が誇りと使命感を持ち、各業務に取り組んでいきます。

良好な治安の確保には、街頭における警察活動の強化を図ることはもとより、地域住民の皆様との理解と協力が不可欠であり、とりわけ住民の皆様による自主的な取り組みと関係機関・団体が連携した「協働活動」の推進が必要であります。

当地域では、住民の皆様「地域の安全は、地域の手で守る」という防犯意識が非常に高く、防犯ボランティア団体やパトロール隊の組織化や青色防犯灯の設置が積極的に行われております。

また、飲酒運転の根絶につきましても、職場や地域の多数の方々「飲んだら乗らない・乗るなら飲まない・乗るなら飲ませない」の三無運動の実践を署名により提出されるなど、積極的かつ進取的な取り組みが行われております。

これらの活動は地域の防犯力を高め、各種犯罪・事故の抑止に多大な成果となっており、大変心強く思っております。

警察といたしましては、今後とも協会の皆様と緊密な連携を図りつつ、安全・安心な地域社会の実現に取り組みますので、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

終わりにになりましたが、貴協会の益々のご発展と会員御一同様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。



着任のご挨拶

島根県出雲県土整備事務所
所長 佐野卓司

この度の異動によりまして、出雲県土整備事務所長に就任いたしました佐野卓司でございます。出雲県土整備事務所勤務は初めてでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

貴協会並びに会員の皆様方には、島根県が取り組んでいます安全で安心できる県土づくりを主体とする社会資本の整備及び維持管理に、平素より温かいご支援とご尽力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本県では平成16年10月に策定した「中期財政改革基本方針」に次いで、平成19年10月には「財政健全化基本方針」を策定して、大胆な財政改革に取り組んでいます。また、これに加え目下の経済危機をいかに乗り切るかという重要課題への対応も求められております。平成21年度当初予算段階では、財政健全化基本方針にほぼ沿った多額の収入不足の状況であり、今後も歳入の確保と歳出予算の効率的な執行を図る必要があります。

本県では平成23年度までを集中改革期間と位置づけ、平成23年度の公共事業予算は県単独費ベースで平成19年度予算の70%までに削減・縮小するとしていまして、平成20年度、平成21年度と基本方針に基づき、公共事業予算は減少の一途を辿っております。

しかしながら、昨年度の交付金事業の交付率嵩上げや、昨秋以降の金融・経済危機対策としての経済対策などにより、平成20年度の公共事業予算の前年度比は、事業費ベースで数%上回る結果となっており、また、平成21年度当初予算においても前年度を上回る見込みとなっております。ここ最近、わずかですが持ち直し感がありますものの、引き続き、公共事業予算の効果的・効率的な執行に努めるとともに、事業の質的改善を図り、最小のコストで事業効果が発揮されるよう努力して参ります。

また、平成19年6月の大幅な入札制度改革以来、公共工事の公正で公平な競争性の確保、品質確保の推進、地域産業の育成及び電子入札制度の導入など、重要な課題に取り組んで参りましたが、本年度も引き続き一般競争入札や総合評価方式の拡充などに取り組むほか、県内業者への優先発注や県内業者の下請け、県内資材使用の優先などにも取り組んで参ります。

建設業を取り巻く環境が依然として厳しい中、会員の皆様方には経営基盤の改善や技術者などの人材育成、新技術・新工法の導入、入札制度への対応など、多方面に亘り、日々大変な努力を重ねられていることと思います。また、地域や地域経済の発展と活性化のために、重要な役割を担っておられます皆様方と、連絡・調整をこれまで以上に綿密にし、地域住民から信頼される社会資本整備を進めて参りますので、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、島根県建設業協会出雲支部のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、着任の挨拶といたします。

ミッポンに、もっと、いつも、いいニュースを。

HAPPY NEWS

新聞がはこんだ

HAPPY NEWS

日本新聞協会は、「HAPPY NEWS キャンペーン」を実施しています。

新聞は、事件事故などの悲しいできごとや、政治経済の難しい話ばかりだけではなく、実はみなさんの日々の生活に、いつも元気を届けようとしています。そんな新聞の横顔を知ってもらいたい、また、これから新聞にHAPPYな記事が増えて、読む人の心があたたかくなることで、世の中が少しでも明るくなつたらいい——HAPPY NEWSキャンペーンにはそんな願いが込められています。

最もハッピーなニュース 第5回『HAPPY NEWS 2008』

『HAPPY NEWS 2008』入選作品

※一部抜粋（日本新聞協会 発表）

母親から妊娠時の様子を聞く5年生の児童



「産んでくれてありがとう」と。田子町立田子小学校（佐々木豪校長で十七日、五年生の母親が、妊娠時の思い出を子供たちに語る授業が行われた。自分が生まれてくる時の様子聞いた児童たちは涙を流して、両親に感謝の言葉を伝えた。

「妊娠、家族で喜んだ」「逆子直すの大変だった」

田子小：母親が特別授業

あなたはこうして産まれた

児童、涙流し感謝

保護者が「出産時の様子を話した。動を子供たちに伝えた。それを聞いた児童はい」と申し出て、学校支「頑張る産んでくれ援ボランティア活動として、うれしい。」初めておて実現。保護者十五人がなかにいた時のことを聞訪れ、同学生二十八人の発表。涙を流しながら児童に話を聞かせた。

母親たちは「超音波写 両親に感謝する子も目立真で初めて姿を見た時 った。担任の養護教諭はは、すこくうれしかつ、担任の養護教諭はた「妊娠が分かった、こんなに泣く子がいる家族みんなが喜んでくれとは。母親の生の声がた」逆子を直すのに大子供たちの心に響いたと変だった」など、自分思う」と授業の成果に子供たちに妊娠当時の満足を話した。

夜空にこぼり、スマイルマーク。一日夕方から夜にかけて、岡山県など国内の南西上空に金星と木星、三日目が接近して「笑顔」をつくる珍しい現象が観測された。「顔」はやや左に傾き、上空から優しく師走の街を見つめているよう。岡山市内では日没から午後七時半ごろまで一時間半程度は笑んだ後、それぞ

夜空に「笑顔」

月、金星、木星接近

れ地平線に沈んでいった。美星天文台（井原市）によると、三つの天体が地球から見て同じ方向に並んだため起きた現象。今回は二〇二二年三月十六日ごろにそっくり踏みすが、「位置が変わるため、顔のようには見えないだろう」という。夜空を見上げた人に贈られた、貴重なプレゼントだったよう。（河内慎太郎）

岡山市内で観測された金星（左上）、木星（右上）と月による「笑顔」=1日午後6時20分